

日本学術会議
第二部会（第26期・第7回）
議事録

- I 日 時 令和7年4月15日（火）9：30～12：00
- II 会 場 日本学術会議6A(1)(2)会議室及びオンライン会議システムを併用したハイブリッド開催
- III 出席者：（敬称略）54名
現地（40名）：荒井、五十嵐、磯、大越、岡村、奥田、尾崎、金井、狩野、神田、北島、木村（直子）、木村（通男）、後藤（英司）、小林、五味、澤、斯波、杉本、高橋（尚人）、高山、竹中、土井、中嶋、西川、西谷、野田、樋田、深田、古屋敷、堀、眞鍋、村上、森、森山（啓司）、山田、山本、柚崎、渡辺（京子）、渡辺（雅彦）
オンライン（14名）：秋下、北川、五斗、後藤（由季子）、佐々木、杉山（久仁子）、杉山（淳司）、高橋（良輔）、竹山、玉腰、野出、藤井、三谷、山口

新会員である五味文会員から挨拶があった。

IV 議 事

1. 審議事項

（1）日本学術会議法案について

56名の会員の署名のもとに提出された議案「日本学術会議法案の修正について」と会長から提出された議案「（声明）次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて～政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって」について、会員間で意見交換がなされた。

2. 報告

（1）「生命科学系の学協会連合体との円卓会議」の開催報告

部長より第1回の円卓会議（令和7年2月24日開催）において、現在の学協会と日学問の問題点、課題、将来的に求められる点について討議されたとの説明がなされた。

(2) 各分野別委員会からの活動報告

第二部附置分科会、並びに各分野別委員会について、令和6年度下期の活動状況と令和7年度の活動予定について報告がなされた。

(3) 持続可能な医療システムの検討に向けた第一部関係分科会への出席報告

以前の第二部会（令和6年10月22日開催）での決定に従い、本テーマに関して第一部の哲学委員会現代における「いのち」を考える分科会（令和6年12月22日開催）に4名の第二部会員と磯副会長が参加し、意見の交換を行った旨報告があった。

3. その他

(1) 夏季部会の開催について

令和7年度は北海道大学にて開催することが報告された。8月7日（木）、8日（金）の2日間で開催予定。

(2) 意思の表出の検討状況について

今期末の9か月前（2025年12月）までを目途に発出するよう、要請があった。

(3) 令和7年度予算執行方針について

令和7年度の予算について部長から説明がなされた。

(4) その他

博士号取得者数について文部科学省から目標数が提案される可能性が話題として出された。

以上